

HIV/AIDS

Condom

PrEP

Blood test

TasP

U=U

予防

検査

治療

共生

大阪エイズウィークス
2023 実施報告書

あなたが変わればエイズのイメージが変わる。UPDATE HIV!

OSAKA
AIDS
WEEKS

2023



公益財団法人エイズ予防財団
大阪エイズウィークス連絡会



<https://osaka.aids-week.com>



公益財団法人エイズ予防財団
Japan Foundation for AIDS Prevention

大阪エイズウィークス 2023 実施報告書

1. 名称

大阪エイズウィークス2023

2. 実施体制

主催：公益財団法人エイズ予防財団

参加・協力：

(団体)

- エイズ予防週間実行委員会（大阪府・大阪市・堺市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市）
- 独立行政法人 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター
- 特定非営利活動法人 薬と医療の啓発塾
- 関西HIV臨床カンファレンス カウンセリング部会
- 一般社団法人JHC
- 特定非営利活動法人 スマートらいふネット
- 摂南大学薬学部 医療薬学研究室
- 第32回日本エイズ学会学術集会記念エイズ啓発イベント実行委員会
- 第37回日本エイズ学会学術集会・総会 市民フォーラム実行委員会
- 特定非営利活動法人 CHARM
- 特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権
- PARTNERS
- MASH大阪
- メモリアル・キルト・ジャパン
- LETTEr ARTS実行委員会
- 大阪検査相談・啓発・支援センター chotCAST
- コミュニティセンター dista

(企業)

- FM802
- FM大阪
- オカモト株式会社
- ジェクス株式会社
- 信長書店・信長TOYS
- 法円坂メディカル株式会社

後援：

- エイズ予防週間実行委員会（大阪府・大阪市・堺市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市）
- 一般社団法人 大阪府医師会
- 一般社団法人 大阪府歯科医師会
- 公益社団法人 大阪府看護協会
- 一般社団法人 大阪府薬剤師会

3. 会期

2023年(令和5年) 11月25日(土)～12月10日(日)を中心とした期間。

4. 趣旨および目的

エイズの登場から40年が経ち、この間にエイズ発症を抑える薬の開発は飛躍的に進みました。今では、早期に治療を始めてきちんと服薬を続ければ、日常生活を支障なく送れるようになりました。しかし、エイズを発症して深刻な病状に至ってしまうケースもまだまだ多くあります。

エイズの話がメディアで報道されることも少なくなり、社会的な関心の低下の一方で、日本では、毎年1000人くらい、新たにHIV（エイズの原因となるウイルス）に感染したことが分かった人が報告されています。その約3割はエイズが発症してから感染がわかった人たちです。

毎年12月1日は世界エイズデーです。この前後の期間を「大阪 エイズ ウィークス2023」として、エイズに関連する領域で活動する団体・グループ・個人が、自治体・企業・メディア等と連携しながら、気軽に参加できるものから深く学べるものまで様々なイベントや企画を運営し、市民のエイズへの関心を高めて感染拡大を防ぐとともに、感染した人々も安心して暮らせる社会の実現を目指します。

5. 実施方法

公益財団法人エイズ予防財団の呼びかけに賛同した団体・企業が、それぞれ（または協働して）企画を実施しました。参加団体・個人のイベント・企画だけでなく、自治体を実施するエイズ予防週間の取り組みも合わせて、統一して広く市民に対して広報を展開するとともに、各団体・グループ・個人・企業の広報ネットワークツールでも情報提供を行いました。

6. 実施結果

12月1日の世界エイズデーを中心とする11月25日(土)～12月10日(日)を、大阪エイズウィークス2023の中心期間とし、11月・12月・1月に様々なイベントやキャンペーン等が実施されました。実施された参加イベント・企画は次のとおりです。

FM802開催イベント「FUNKY MARKET」にて 大阪エイズウィークスのブースを出展

主催: 公益財団法人エイズ予防財団
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
HIV/AIDS先端医療開発センター
協力: 大阪エイズウィークス参加・協力団体/企業

日時: 10月29日(日) 9時30分~17時
会場: 万博記念公園 お祭り広場
内容: FUNKY MARKETはFM802が開催しているイベントで、1993年にスタートし、約30年親しまれています。FM802のDJとリスナーが触れ合える感謝祭のような賑やかな雰囲気イベントです。毎年3万人以上を動員し、番組ブース、ブランドショップエリア、リスナーによるフリーマーケットなど...緑豊かな万博記念公園で1日中楽しめる空間です。そのフリーマーケットエリアにブースを出展し、エイズ啓発の資材セット配布、パネル展示、クイズなどを実施しました。
結果: 会場の入り口では、FM802によってチラシ等のサンプリングが行われ、大阪エイズウィークスのパンフレット7,000部も一緒に配布されました。また出展ブース前で特製エコバッグに入れた資材セット(内容物は大阪エイズウィークス2023パンフレット、啓発用コンドーム、冊子「HIV感染症・エイズ2023」、啓発用ポケットティッシュ、各団体イベントちらし各種等)を2,000セット配布しました。
また、ブースではエイズの基礎知識についてパネル展示を行いました。さらにブースの展示をしっかりと見れば回答できるような内容のエイズに関する知識のクイズを実施しました。全回答者には参加賞をプレゼントし、さらに全問正解者にはエイズ啓発グッズもプレゼントしました。クイズには450名の参加がありました。



女性スタッフによる女性のための検査相談事業 レディースデー

主催: 特定非営利活動法人スマートらいふネット

日時: 11月15日(水) 18時~19時30分
場所: 大阪検査相談・啓発・支援センターhotCAST
内容: 女性を対象としたHIV・梅毒・B型肝炎・クラミジアの検査と、医師・保健師・薬剤師(NPO法人薬と医療の啓発塾協力)による個別相談を実施しました。併せて当日受検者へのプレゼントとして「ミニ袋に入れた女性好みのコンドーム(ジェクス株式提供)」を提供し、HIV含む性感染症予防を訴えました。
結果: 受検者は38名でした。
今年度の「レディースデー」取り組みは、9月初旬に知事室広報もあり受検者の増加に繋がりました。またSWASH(Sex Work And Sexual Health)の協力広報もあり、受検者数は昨年度を上回りました。クラミジア検査の陽性率も高いものがあり、成果があったと考えます。多くの団体の協力連携のもとでの事業展開は効果的であったと考えます。

20代女性の梅毒感染が増えています。
2021年の大阪府梅毒検査数152名のうち女性は約半分の76名。2015年以降、女性の感染が増えています。梅毒は治療すれば治癒しますが、重症の女性は胎児の死産や流産、死産などのリスクがあります。

検査から約40分で結果がわかる!
HIV・梅毒・B型肝炎・クラミジア検査と医師・保健師・薬剤師による個別相談を実施します。HIVの感染は、検査結果がわかるまでしばらくは症状が現れず、検査結果がわかるまでしばらくは症状が現れず、検査結果がわかるまでしばらくは症状が現れず...

ぜひ検査を受けて早期発見・早期治療につなげましょう!



エイズ予防週間実行委員会の取組

主催:エイズ予防週間実行委員会(大阪府・大阪市・堺市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市)

期間:11月～1月

会場:大阪府全域

内容:11月～1月の期間中に様々なエイズ啓発の取り組みを行いました。またポケットティッシュ(20,910個)・カバー付き付せん(6,000個)・エコバック(500個)を作成し、各政令市・中核市及び府保健所の啓発活動において配布したほか、「FUNKY MARKET」、「セレッソ大阪試合会場に設置した啓発ブース」、「大阪エイズ啓発フェスティバル2023」において配布しました。

動画配信

期間:①11月1日(水)～30日(木)の1か月間

②12月12日(火)～令和5年1月10日(水)の1か月間

配信地域:①②大阪府全域

内容:大阪府全域の18歳から39歳の男女を対象として、昨年度作製した啓発動画「HIV・梅毒等の検査紹介編」(30秒)を①YouTube及び②Instagram(掲載場所:フィード)を活用して広告配信しました。

結果:①YouTubeの視聴回数は101,344回(リンク先へのクリック数:667回)でした。②Instagramの100%再生数は3,290回(リンク先へのクリック数:1,341回)でした。



セレッソ大阪試合会場での啓発ブースの設置

日時:11月25日(土)11時半～14時

会場:ヨドコウ桜スタジアム

内容:パネル展示とクイズを実施しました。解答者へ景品(啓発用のポケットティッシュ、カバー付き付せん、エコバッグ、セレッソグッズ(ノート)、啓発冊子・カード、靴下用カイロ(120個限定))をプレゼントしました。



結果:来場者数に結びつく資料(セレッソ大阪グッズ)についても景品にすることで、より多くの人々がHIV/エイズについて知識を得る機会となりました。クイズの解答者数は479人でした。

大阪城天守閣のライトアップ

日時:12月1日(金)日没～22時

会場:大阪城

内容:世界エイズデーの12月1日に、大阪のランドマークのひとつである大阪城を赤色にライトアップしました。HIV陽性者に対する理解と支援の世界的シンボルであるレッドリボンの赤色でライトアップを行うことで、HIV/エイズへの関心を高める機会としました。

結果:X(旧Twitter)で、世界エイズデーであることを初めて認識したという投稿もあり、赤色のライトアップを見ることで、HIV/エイズについて意識する機会になったことが伺えました。



心斎橋サンサンサイト(JHCクリニック) 無料・匿名でHIV即日抗体検査

主催:一般社団法人JHC

日時:12月2日(土)17時30分～19時

会場:大阪検査相談・啓発・支援センターchotCAST

内容:夜間HIV即日抗体検査会を実施しました。参加者にはオプションとしてB型肝炎および梅毒の検査も実施しました。

結果:受検者数は8名(男5名、女3名)でした。

心斎橋サンサンサイト (JHCクリニック) 無料・匿名でHIV即日抗体検査

12月3日(土) 受付時間 17:30 から 19:00 まで
(17:00 から整理券配布)

【実施場所】
大阪検査相談・啓発・支援センター chotCAST 内 JHCクリニック
(大阪府中央区東船場1-7-30 2F 心斎橋ビル4階 chotCAST)
アクセス:地下鉄東船場駅 心斎橋駅南口徒歩5分
地下鉄東船場・長町駅駅から徒歩2分

【実施内容】
検査内容: HIV 即日検査
検査場には医師アシスタントとして、医療従事者が梅毒の検査を実施します。
結果: 即日(但し、血液検査が必要となった場合は待機) 検査結果の通知となります。
当日の結果のお知らせは血液から約1時間30分後には、本人に電話でご案内いたします。また、検査当日の検体回収です。
電話やメール等でのお問い合わせはできません。
結果通知の発行はできません。

費用: 無料・匿名(当日先着順(予約不要))
定員: 30名(ご参加は先着順、受付は終了します。)
問い合わせ: 06-4708-5339
(検査当日の検査結果の通知はできません。)

ホームページアドレス
<https://chotcast.com/index.htm>

主催:一般社団法人JHCが実施します。

第7回 関西HIV・薬剤 Workshop

主催: 特定非営利活動法人薬と医療の啓発塾
後援: 一般社団法人大阪府薬剤師会

日時: 11月25日(土) 15時~17時

会場: 内久宝寺薬局研修室 (Zoomを用いたWeb開催)

内容: 今回も、内久宝寺薬局研修室をキーステーションに会場とWebによるハイブリッド形式で開催しました。HIV陽性患者の長期療養における様々な課題に対して、最も近い医療現場で携わっている大阪医療センターHIVコーディネーターナースの東政美さんに特別講演をお願いしました。第2部では保険薬局における事例を基に症例検討を通じて的確な対応の仕方を共有しながら学習しました。途中投票機能を使用して参加の保険薬局薬剤師にも「私だったらどう対応する」と一緒に考えていただき、最後にコーディネーターナースの東さんからアドバイスをいただく内容で開催いたしました。

結果: HIV患者の処方箋を応需している9店舗の保険薬局より計12名の方に参加いただきました。まだ全国的に数が少ないHIVコーディネーターナースの院内での患者さん対応について、しっかりと寄り添いながら毅然とした態度で接することの重要性も同時に学ぶことができました。ひとりの患者さんを長期に渡りサポートしていく中で、院外と院内の連携の重要性を改めて強く感じる機会となりました。

大阪エイズウィークス 2023 参加企画

第7回関西 HIV・薬剤 Workshop

2023 開催日時: 2023年11月25日(土) 15:00-17:00

15:00	開催挨拶	第1部 司会 迫田直樹
15:05	特別講演 演者 東 政美 先生 (大阪医療センター看護部 HIV コーディネーターナース) 演題 「HIV 陽性患者の長期療養の課題と地域薬剤師との連携」	第2部 司会 迫田直樹
16:05	症例検討代演 迫田直樹 「事例を用いた HI 患者への介入について考える」	
17:00	終了	

主催: 特定非営利活動法人 薬と医療の啓発塾 後援: 大阪府薬剤師会

「通訳付き外国人検査相談事業」 日本語が話せない方のための無料・匿名のHIV検査・相談

主催: 特定非営利活動法人スマートらいふネット

日時: 12月3日(日) 14時~15時30分

場所: 大阪検査相談・啓発・支援センターchotCAST

内容: 「日本語が話せない外国人」を対象とした無料・匿名の外国語通訳付きHIV検査・相談事業を実施しました。12月は「英語」「中国語」の通訳が付きました。検査項目は、HIV・梅毒・B型肝炎の3項目でした。受検者へはエイズデー記念としてコンドーム(ジェクス株式会社提供)をプレゼントしました。

結果: 当日即日検査受検者数は「英語4名」「中国語1名」の通訳付き外国人検査を含む45名の受検者がありました。年々外国籍受検者が増加する中で、2023年度より月1回の「通訳付き外国人検査相談事業」としてCHARM協力の下、「日本語が苦手な外国人の受検者でも安心して無料匿名検査ができ、早期発見早期医療に繋ぐ」事をモットーとして取り組んでいます。今年度はエイズデー記念イベントとして「千里の万博公園」で2000枚の案内ビラを配布して広報活動も実施しました。

今後「通訳付き外国人検査相談事業」がより広く定例事業として定着し受検者増加に繋がる事が期待できるものと考えます。

2023年度 大阪府・大阪市事業

Free HIV Testing & Counseling / Có thể nhận xét nghiệm miễn phí và ẩn danh.

日本語が話せない方のための
無料・匿名 HIV検査

母国語で話せるので安心! 1時間で結果がわかる!

FREE and anonymous HIV testing with interpretation services in English, Chinese and Vietnamese.
为不会日语的人配备口译, 并且是匿名及免费的 HIV 检查。
Thông tin xét nghiệm HIV có thông dịch tiếng Việt Nam.

毎月第1日曜日に通訳付きの無料・匿名検査を実施

偶数月 中文・English 4/2, 6/4, 8/6, 10/1, 12/3, 2024/2/4	奇数月 中文・Tiếng Việt 5/7, 7/2, 9/3, 11/5, 2024/1/7, 3/3
---	---

検査を受けるには事前予約が必要です
検査日の2週間前から予約ができます

[実施日時] 毎月第1日曜日 14:00~15:30
[検査項目] HIV, B型肝炎, 梅毒
[検査について] 要予約、無料、匿名、即日検査(採血して1時間後に結果を返却)
[予約サイト] <http://www.smartifclinic.com>

大阪市中央区東心斎橋 1-7-30 21心斎橋ビル4階
心斎橋駅(丸太町)徒歩4分 / 南船場駅(船場)徒歩1分
南船場駅(船場)徒歩1分 / 船場駅(船場)徒歩1分 / 船場駅(船場)徒歩1分 / 船場駅(船場)徒歩1分
エレベーターで4階までお越しください。

電話 06-4708-5035
お問い合わせは以下の時間帯にお願いします
休業 休業日: 12/25(土) 12/26(日) 12/27(月) 12/28(火) 12/29(水) 12/30(木) 12/31(金)

Web <http://www.smartifclinic.com>

委託事業: NPO法人スマートらいふネット chotCAST(大阪検査相談・啓発・支援センター)で大阪府・大阪市の
事業委託を受けて実施(大阪府・大阪市)のHIV検査事業を実施しているクリニックです。

スマートらいふクリニック

**第37回日本エイズ学会学術集会・総会市民フォーラム
+People 2023+ (ポジティブ・ピープル2023)
HIV感染症がつなぐ人々～今に生きる40年の歴史とこれから**

主催：第37回日本エイズ学会学術集会・総会
運営：第37回日本エイズ学会学術集会・総会市民フォーラム実行委員会

日時：12月3日(日) 15時～21時
場所：龍谷大学響都ホール校友会館
内容：第37回日本エイズ学会学術集会・総会の市民フォーラムとして+People 2023+を開催し、アート作品の上映と、HIV/エイズの40年の歴史やそこに生きた人たちと会うことにより、HIVについて知り・考え・つながることを目指しました。

ビジュアル・エイズ短編映像集《 Everyone I Know Is Sick 》上映

(15時30分～17時)

ダムタイプ《 S/N 》記録映像上映とトーク

(トーク：18時～19時 上映：19時10分～20時30分)

展示と交流《 HIV/エイズ40年の歴史とこれからを知る・考える・つながる 》

(ホールロビーにて15時～21時)

HIV/エイズとそれに関係の深い領域で活動してきた関西と北陸地域の市民運動団体がロビーでの展示を企画しました。

【メモリアル】～あなたのことを忘れない～

《メモリアルキルト》や薬害エイズ被害者遺族が今の“想い”を綴った冊子《たんぼの詩 空に架けるタペストリー》の展示など。

【ドキュメント】～HIVがつなぐ人々～

HIV/エイズ40年間の人々の記録。関西4団体による初の《共同制作大年表》と新プロジェクト《インタビュー映像》公開

【アクション】～今、できること～

これから新しく健康や人権に関わりたい人たちの、最初の一步や疑問に役立つ《情報》が大集合！

展示参加団体は、メモリアル・キルト・ジャパン、NPO法人ネットワーク医療と人権、NPO法人CHARM、Bazaar Café、MASH大阪/コミュニティセンターdista、北陸HIV情報センター、PLANET (HIVとともに生きる会)、AIDS文化フォーラムin京都、エイズコミュニティ・インタビュー・プロジェクト、ロカボを食べながらHIVを知る会 (HIVカフェ) です。

結果：参加者は、ホールイベント入場者175名、展示のみ約25名、スタッフ約20名、合計220名でした。学会員以外の一般の方々も多く来場いただきました。

上映企画からは、多様性を理解し合える寛容な社会へのメッセージを強く受けました。展示会場では、まず大年表からの学びがあり、昔から現在の活動についての展示で、多くの事柄を知ると共に、お互いの交流もできたと思います。HIVカフェによりリアリティーが出、それにより年表やメモリアルキルトの意味が理解しやすくなっ

たと思います。想像していたのと違う展開ができて良かったと思います。文字だけではないものを実感できる機会になったのではないかと思います。



**+People 2023+ (ポジティブ・ピープル2023)
HIV 感染症がつなぐ人々～今に生きる 40 年の歴史とこれから**

実施：MASH 大阪

日時：12月7日(木)～12月31日(日) 17時～22時

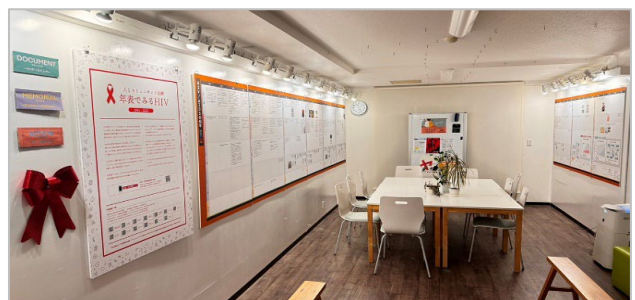
※月・火・水曜日を除く

場所：コミュニティセンターdista

内容：2023年12月に開催された第37回日本エイズ学会の市民フォーラム「+People 2023+ポジティブ・ピープル2023 HIV 感染症がつなぐ人々～今に生きる40年の歴史とこれから～」の会場にて展示された【ドキュメント】～HIVがつなぐ人々のHIV/エイズ40年間の歴史《年表》をコミュニティセンターdistaでも展示しました。

この《年表》は、近畿で活動するネットワーク医療と人権、CHARM、バザールカフェ、MASH大阪の4団体がそれぞれ独自制作していた年表を統合し、新たに情報を追加したものです。

結果：総来場者数は193名でした。40年間にわたる世界と日本国内のHIVの動向、薬害エイズに関連する出来事、抗ウイルス薬の進歩、そして主に関西のNGOが切り拓いてきた軌跡を紹介しました。これを通じて、過去の経緯を振り返り、将来の10年でHIV/AIDSに関する状況がどのように変わるかについて考えるきっかけが生まれました。今後、distaホームページで閲覧できるよう取り組みを予定しています。



関西HIV臨床カンファレンス カウンセリング部会主催
2023年度オンライン公開セミナー
LGBTQの老後を「おひとりさま・身寄りなし」の文脈で考える

主催：関西HIV臨床カンファレンス カウンセリング部会

日時：12月23日(土) 14時~17時

場所：ZOOMによるオンライン公開セミナー

内容：少子高齢化が進む中、単身世帯も増加しています。パートナーの有無にかかわらず、最後は「おひとりさま」になることは、LGBTQに限らず大いにあり得る話かもしれません。「急な病気や事故、怪我などで入院となった時や介護が必要となった時、どうしたらいいんだろう？あるいは自分が死んだ後はどうなるのかな？…」そんな疑問や不安などについて、何かが起きてからではなく、事前に知り、備えることで、自分らしく、地域で暮らし続けていけるかもしれません。そのための情報提供を、永易至文さん(特定非営利活動法人パープル・ハンズ 事務局長)を講師にお迎えして行いました。

結果：参加者は26名(講師・事務局計3名含む)でした。ソーシャルワーカー、心理職、ナース、歯科医師、当事者等の参加がありました。実施したアンケート(回答数:18)より、「日々の業務における課題整理の機会になり、今後の取り組みを考える場になった」、「事例を通じたお話で分かりやすかった」等の回答があり、アンケート回答者全員から「今後の生活・業務に活かすことができる講演であった」と回答がありました。また、職種や立場によって「おひとりさま」への関わり方や視点が異なることから、今後どのように多職種・多機関で協働し、支援していくかを検討し、当事者も自身でできる備えを意識して生活していく必要性を理解し、考える場になりました。

関西HIV臨床カンファレンス カウンセリング部会主催
2023年度 オンライン公開セミナー

LGBTQの老後を 『おひとりさま・身寄りなし』 の文脈で考える

12月23日(土) 14:00~17:00
ZOOMにて開催 参加無料

講師
特定非営利活動法人 パープル・ハンズ
事務局長 永易至文先生

1966年、愛知県生まれ。1980年代末からゲイのコミュニティ活動にかかわる。出版活動を経てフリーランスライター・編集者としてのキャリアをスタート。その後、HIV 関連を取材・執筆。2013年に自伝的エッセイ『後援者としてのゲイ・ハンズ』を出版。著書『ふたりで安心して暮らすための本』(LGBT)ヒストリー そのどっかの、現代日本の性的マイノリティ』ほか

少子高齢化が進む中、単身世帯も増加しています。パートナーの有無にかかわらず、最後は「おひとりさま」になることは、LGBTQに限らず大いにあり得る話かもしれません。急な病気や事故、怪我などで入院となった時や介護が必要となった時、どうしたらいいんだろう？あるいは自分が死んだ後はどうなるのかな？…そんな疑問や不安などについて、何かが起きてからではなく、事前に知り、備えることで、自分らしく、地域で暮らし続けていけるかもしれません。一緒に考えてみませんか？ ご参加申込み、お待ちしております。

対象：どなたでも
定員：50名
参加方法：QRコードより Google フォームにて申込みください。
ZOOM のご案内をお送りいたします。QRコード、Google フォームでの申し込みができない方は、下記メールまでお問い合わせください。
匿名での参加可能です。
問い合わせ：関西HIV臨床カンファレンス カウンセリング部会事務局 福崎
(兵庫県立大学附属 看護社会福祉部)
E: yu-hukozaki@hyo-med.ac.jp

第32回日本エイズ学会学術集会記念啓発イベント
大阪エイズ啓発フェスティバル2023

主催：第32回日本エイズ学会学術集会記念エイズ啓発イベント実行委員会

共催：大阪市

後援：大阪府

一般社団法人日本エイズ学会

公益財団法人エイズ予防財団

協力：JAJE 日本学校ジャズ教育協会関西本部

メモリアル・キルト・ジャパン

特定非営利活動法人薬と医療の啓発塾

法円坂メディカル株式会社

エイズ予防週間実行委員会(大阪府・大阪市・堺市・

高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市)

田中胡径、川村和彦

日時：1月20日(土)13時~18時

場所：大阪市中央公会堂

内容：大阪市中央公会堂を会場としてエイズ啓発イベントを開催し、講演、ジャズフェスティバル、メモリアルキルト展、健康相談・体験コーナー、絵画展示などを実施しました。大集会室入口では、来場者にエイズ啓発資料のセットをお一人1つずつお渡ししました。またエイズについての基礎知識についてのパネル展示やメモリアルキルトの展示を行ったほか、エイズ予防週間実行委員会の啓発資料配付ブースを設置し、来場者の皆さまにご自由にお持ち帰りいただきました。

結果：350名以上の来場者があり、多くの方々にHIV/エイズについて知っていただき、また健康について考えていただくことができました。



メモリアルキルト展

日時：1月20日(土)13時～18時

会場：大阪市中央公会堂 中集会室と大集会室前

内容：HIV感染症/AIDSに倒れていった人達に向けて、「彼/彼女らの名前を忘れまい」との思いから生まれたのがAIDSメモリアルキルトです。1枚のキルトは90cm×180cm、その人の名前や愛用していた衣服、小物類、家族や親しい人々からのメッセージなどが縫い付けられています。それらの想いのこもったキルトを今年もメモリアル・キルト・ジャパンのご協力を得て展示しました。



健康相談・体験フェア

日時：1月20日(土)13時～18時

会場：大阪市中央公会堂 中集会室

内容：特定非営利活動法人薬と医療の啓発塾と法円坂メディカル株式会社のご協力を得て、管理栄養士による食育サットを用いた栄養相談、アロマ資格を有する薬剤師によるアロマスプレー作り、薬剤師になりきっての偽薬（チョコレート）を用いた分包体験、理学療法士による体成分分析装置（Inbody：インボディ社）を用いた筋肉・体脂肪量のバランス測定、外来がん治療専門資格を持つ薬剤師による乳がん触診モデル体験の5つのコーナーを13名のスタッフで実施しました。小雨まじりの曇り空でしたが、開始からジャズフェスティバル開催まで、どのコーナーにも万遍なく一定の来客で賑わっていました。分包体験は特にお子様に人気で小さな白衣を着ての体験を家族ぐるみで楽しんでおられました。参加の皆様は健康志向が高く、インボディー、食育サット、アロマスプレーすべてを体験されていました。また女性の方は、乳房触診モデルによる体験を通じて乳がん自己検診方法などを薬剤師にいろいろと相談されていました。



ミニトークコーナー

日時：1月20日(土)13時～18時

会場：大阪市中央公会堂 中集会室

内容：メモリアルキルト展や健康相談・体験コーナーと同じ会場内にミニトークコーナーを設置し、参加団体の講師によるミニ講演を実施しました。

（講演内容）

「HIV/エイズを巡る最近の話題」

白阪琢磨（大阪医療センター HIV/AIDS先端医療開発センター 特別顧問、公益財団法人エイズ予防財団 理事長）

「AIDS メモリアルキルトについて」

メモリアル・キルト・ジャパン スタッフ

「オンライン服薬指導で薬局訪問不要!?～新たな薬局の利用方法とは～」

迫田直樹（法円坂薬局 HIV感染症専門薬剤師）

「バランスの良い食事」

藤垣風未（都島センター薬局 管理栄養士）

「運動が続かない方へ、走る前に歩いていますか?～正しい姿勢の作り方～」

藤原裕毅（フィロソフィア訪問看護ステーション 理学療法士）

「乳がん早期発見のために今できること」

瀬戸基樹（法円坂薬局 外来がん治療専門薬剤師）

「プライバシーに配慮した薬局とは、性感染症の検査の受け方」

中村美紀（きらめき薬局 HIV感染症専門薬剤師）



胡径庵 大津絵襖・屏風展
街道をかくー川村和彦『西国三十三所観音霊場』水彩スケッチ展

日時：1月20日(土)13時～18時
 会場：大阪市中央公会堂 会議室

内容：大津絵の館「胡径庵（こけいあん）」は比叡山の里坊にある大津絵のギャラリーです。季節ごとに彩られるお庭を眺めながら大津絵の世界に浸ることができます。今回はその胡径庵から選りすぐりの大津絵の襖と屏風をお持ちいただいて展示しました。併せて、「街道をかく」紀行画家として、鉄道と自転車を駆使して全国の町並みを描いている川村和彦さんの作品展「西国三十三所観音霊場」水彩スケッチ画展を開催しました。



エイズ啓発大阪ジャズフェスティバル vol. 6

日時：1月20日(土) 14時30分～17時
 会場：大阪市中央公会堂 大集会室

内容：中学生たちのフレッシュでみずみずしい演奏と、高校生たちの本格的な歌唱、プロジャズミュージシャンの絶妙のプレイ&パフォーマンスを、お届けしました。演奏の間に「日本におけるエイズの現状」の講演も実施しました。

◆パフォーマンス

- ・高槻市立冠中学校 The Crown Jazz Orchestra Takatsuki
- ・プロジャズバンド[大塚善章(P)、上場正俊(Ds)、河村英樹(Ts)、田中洋一(Tp)、山崎初美(B)、ロアナ・シーフラ(Vo)]
- ・大阪府立夕陽丘高校音楽科生徒

◆講演「日本におけるエイズの現状」

- ・白阪琢磨 (国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター 特別顧問、公益財団法人エイズ予防財団 理事長)



7. 広報

大阪エイズウィークス2023の全体広報資料としてパンフレットを作成し、大阪エイズウィークス参加団体を通じてそれぞれの活動対象者へ配布したほか、近畿の各府県および政令市のエイズ対策担当、近畿のエイズ拠点病院等へも送付し周知しました。また10月29日(日)の「FUNKY MARKET」にて来場者に配布し、様々な層へ広報することができました。

ホームページ/Facebook/Twitter

ホームページやFacebookでは、各イベントの詳細情報を掲載し、X (旧Twitter) で情報の拡散をしました。またHIV/エイズに関するニュースや検査相談情報などを随時発信しました。

パンフレット

仕様：観音折り8ページ (仕上がりA5サイズ/両面4色) 20,000部作成・配布

パンフレット中開面2ページにはエイズについての知識をUPDATEするような情報を掲載しました。また、パンフレット内面4ページには、参加企画の情報を掲載しました。

パンフレット表紙

パンフレット裏表紙

パンフレット中開面

パンフレット内面

FM802 「FRIDAY Cruisin' Map!!」 で生CM放送

日時：12月1日(金) 13時45分頃

内容：FRIDAY Cruisin' Map!! (DJ：飯室大吾) 内で、HIV/エイズの現状や、大阪エイズウィークス 2023 のイベント情報などをお伝えする生 CM が放送されました。また、11月25日(土)～12月10日(日)の間、HIV/エイズ予防を呼びかけるスポット CM が放送されました。

FM大阪「なんMEGA!」で生CM放送

日時：12月1日(金) 14時35分頃

内容：なんMEGA! (DJ：前田彩名) 内で、HIV/エイズの現状や、大阪エイズウィークス 2023 のイベント情報などをお伝えする生 CM が放送されました。

産経新聞に広告掲載

日時：1月5日(金)、1月6日(土)、1月13日(土)

内容：産経新聞の大阪市内ページに、エイズウィークス参加企画「大阪エイズ啓発フェスティバル 2023」の広告(半5段サイズ)を上記3回掲載されました。

J:COMチャンネル「ジモトトピックス」で放送

日時：1月30日(火) 20時30分～20時55分

1月31日(水) 7時～7時25分、11時～11時30分、
20時30分～20時55分

2月1日(木) 7時～7時25分、11時～11時30分、
20時30分～20時55分

2月2日(金) 7時～7時25分、11時～11時30分、
20時30分～20時55分

(※上記各時間帯の開始15分頃辺りからの放送)

内容：大阪市内の J:COM チャンネルの番組「ジモトトピックス」で、エイズウィークス参加企画「大阪エイズ啓発フェスティバル 2023」の様子が放送されました。この放送は、地域情報アプリ「ど・ローカル」でも視聴可能でした。

8. まとめ

12月1日の世界エイズデーを中心とした期間に様々な関連イベントを集中的に開催する取り組みとして、今年も「大阪エイズウィークス 2023」を実施しました。

多くの団体・企業にご尽力頂き、多様なイベントや企画を実施することができ、多くの市民にエイズについて情報の発信ができ、学習の機会を提供することができました。

HIV/エイズの治療が進歩し、かつてイメージされたような「死の病」ではなくなりました。治療によって体内のウイルス量をコントロールできている陽性者からの感染は起こらなくなり、近年では年間の HIV 感染者・AIDS 発症者の新規報告者数は減少傾向となっています。

しかし、HIV/AIDSは過去のことだと思っている人、古い情報がアップデートされていない人、自分には全く関係のないことだと思っている人も、またたくさんおられます。

また近年、梅毒の感染報告数も増加しており、性感染症の増加が HIV 感染の増加につながる可能性もあり、注意が必要です。

今後も、ひとりでも多くの方に、HIV というウイルス、エイズという病について、また性感染症について、正確な情報をお届けできるように、そして感染した人々も安心して暮らせる社会が実現できるように取り組んで参りたいと思います。



エイズウィークス

2023

大阪エイズウィークス2023実施報告書

発行：2024年(令和6年)2月

発行者：公益財団法人エイズ予防財団

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町 2-7-1 TOHYU ビル 3階

TEL (03) 5259-1811 / FAX (03) 5259-1812

ホームページ：<https://www.jfap.or.jp>

大阪エイズウィークス連絡会事務局

〒540-0006 大阪市中央区法円坂 2-1-14

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター3階

TEL (06) 6942-1331 [内線 6350] / FAX (06) 6946-3652

ホームページ：<https://osaka.aids-week.com/>